



伊月の化石壁（後野地係）をフィールドに化石発掘体験会を実施。体験会后、平成の湯で和泉地区の化石について学習（=10月11日）

おおの

議会だより

No.186 平成26年10月25日

発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

Tel 0779-66-1111 Fax 0779-65-3021

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会



▼
主
な
内
容
▲
▲
▲
▲
▲
▲
▲

人口減少対策のための調査・研究経費などを追加（定例会の概要）	2ページ
8議員が市政を問う（一般質問）	3～6ページ
各議員の表決結果	7ページ
政府へ林業・木材産業の施策の充実・強化を求める意見書を提出	8ページ
米品質評価システムとは（常任委員会審査Q & A）	9ページ
地域型保育事業の基準（常任委員会報告）	10ページ
特別委員会報告、委員会視察レポート	11ページ
議会用語Q & A	12ページ

9月 定例市議会 概要

第390回定例市議会は、9月8日から9月26日までの19日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成26年度の一般会計補正予算案、条例の制定、物品売買契約の締結、人権擁護委員候補者の推薦などの全22議案のほか、請願2件、陳情1件、そして市会案1件について審議しました。審議結果は、7ページのとおりです。なお平成25年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算認定議案については、10、11月中に審査することになりました。

一般会計予算に 1億815万円を追加

平成26年度一般会計予算に1億815万円が追加され、予算の累計額が194億2368万円になりました。前年度9月補正後と比較すると12・1割の増です。

なお、主な補正の内容は下表のとおりです。

各特別会計補正予算

特別会計のうち、国民健康保険事業では、制度改正に伴うシステムの改修経費が追加計上され、その他の会計では、主に前年度決算に伴う繰越金の処理がなされました。

また、下水道事業では、菖蒲池のJＲ踏切に係る工事委託金の債務負担行為が計上されました。

人口減少対策のための調査・研究経費 定期予防接種対象疾病の追加に対応する経費などを追加

補正のあった主な内容	補正額
★ 人口減少対策のための調査・研究経費	120万円
★ 社会保障・税番号制度を導入するため、関連システムの改修を行う経費（3システムの合計経費）	1982万円
★ 法律の改正により定期接種対象疾病として追加された水痘と成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施するための経費	1056万円
★ 越前おおの農林楽舎に米品質評価システムを導入する経費	560万円
★ 観光客を対象とした酒蔵めぐりを試験的に実施する経費	50万円
★ 地下水の研究・分析のため、市内小学校の協力を得て、地下水の採取と水温等の調査を行う経費	100万円
★ 土砂災害特別警戒区域内の集落を対象にハード整備の意向や災害時の避難経路などについて聞き取り調査を実施する経費	50万円
★ 婦人防火クラブ研修等を実施するため、視聴覚資機材を購入する経費	100万円
★ 平成27年4月の教科書改訂に備え、指導書等を購入する経費	969万円
★ 台風8号により被災した市道面谷線と久沢線の復旧工事を実施する経費	1650万円

その他の議案

▼結の故郷奨学金

貸与条例の制定

本市独自の奨学金制度を実施するため、条例が制定されました。大学等に在学する満25歳以下の方が対象で、自宅通学の場合、月額1万円、自宅通学以外の場合、2万円が貸与額となります。

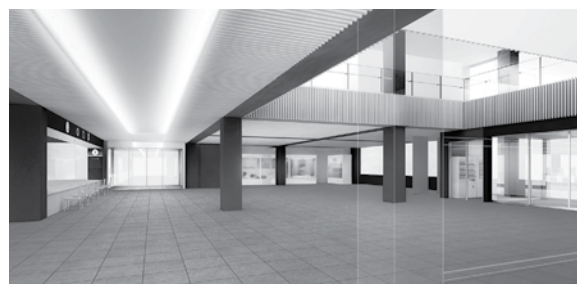
返済については、本市へ帰郷した場合、2分の1が、また婚姻して配偶者と本市に居住した場合、全額が免除されることとなります。

なお、平成27年4月からの実施となります。貸与資格には、保護者が本市に居住していることなどいくつかの条件がありますので、詳しくは、市教育委員会へお問い合わせください。

▼庁舎市民ホールの

利用に関する条例の制定

新庁舎の市民ホールについて、利用に関する事項や使用料などが定められました。



庁舎市民ホールの完成イメージ図

▼庁舎整備工事の

請負契約の変更

新庁舎整備に関する2つの工事について、急激な物価上昇に対応するため、インフレスライドの適用等により、それぞれ増額する契約を認めました。

▼スキー場圧雪車の

売買契約

九頭竜スキー場とDINOUSポーツランドクロスカントリースキー場で使用する圧雪車を、それぞれ1台購入する契約を認めました。

クリエイティブな仕事を持っている方の 移住促進を進めては

そのような視点も人口減少対策として
大切だと考える



問 大野市に移住定住促進をする場合に一番大きな課題は何だと考えるか。

答 経済活動、働く場の創出。また、現在、重点的に取り組んでいる中部縦貫自動車道の延伸、国道158号の整備など、大野市が福井周辺の通勤圏になることが一番大きな部分だと思う。

問 大野で仕事を作るということも大事な視点だが、逆に住んでいる場所を選ばない仕事をされている方をターゲットに取り組んではどうか。例えばアーティスト・イン・レジデンス事業など、今までとは違った視点で取り組んでほしいが、いかがか。

答 議員ご指摘のとおり、文化芸術分野に限らずクリエイティブな仕事をされている方は、ICT時代なので必ず会社がある地域に住まなくても、子



和泉地区での化石発掘体験

育てしやすく安全で安心な地域で生活することが出来る。このような視点も今後の人口減少対策として大切だと考える。

問 化石の活用について県の恐竜博物館との連携は聞いているが、お隣、勝山市との連携が「化石保全活用計画」の中に全く書かれていない。勝山市とのこれまでの取り組み、今後についてお聞きする。

答 今後、勝山市とは奥越の観光施設等をめぐるという意味で働き掛けて、お願いをしていきたいと考える。

新生おおの

かねい

まさる
大議員

小中学校の再編を検討する学校教育審議会 なぜ会議を秘密にしたのか

率直な意見交換や意思決定の中立性が
損なわれる恐れがあるため



問 市民性の高い学校再編問題を非公開にするなど考えられないが、会議録は公開するのか。

答 会議が非公開のため経過を示す会議録も公開できない。

問 環境保全型・越前おおの型農業は具体的にどのようなものなのか。

答 肥沃な農地と清らかな水、気温の日較差が大きいなど自然の恩恵を生かして、安全で良質な消費者に信頼される農産物としての付加価値を高め農業収益の向上を図るとともに、多様な担い手の確保と育成などに取り組み、越前おおの型農業の持続的発展を目指す。

問 水田面積3800畝のうち福井県特別栽培面積は124畝（わずか3割）で、毎年変化がない状況が続いているが、福井県特栽培面積や農産物生産額の目標を明確にして

生産者と市民の皆さんが分かるように具体的な形を絵に表わしてほしいと考えるが。

答 そのように目指しているが、販売先をしつかり確保することが重要で、農林楽舎や平成大野屋が情報発信と販路拡大をして、農業者の収入が得られるようにしたい。

問 農林楽舎の役割を農家の下支え役とするが、農産物生産額を約35億円から40億円に高めることなど、越前おおの型農業の本丸に貢献できるような農林楽舎の事業ビジョンを明確にすべきだが。

答 販路開拓が重要で、JAテラル越前も一緒になって取り組み、大野の価値ある農産物を高く売る先を見つけていくことが重要と考える。

新風おおの

まつた

もとえ
元栄議員

本市の水に関する考え方は

名水のまちとして、 地下水を後世に引き継ぐ取り組みを進める



双葉会

たか おか
高岡

かず ゆき
和行 議員

問 本市の水に関する考え方はどうか。

答 市街地は、湧水に恵まれた城下町であり、現在、地下水は、飲料水などの生活用水等に利用されている。しかし、さまざまな原因で地下水位の低下や湧水減少・枯渇が発生した。そこで、「地下水保全条例」「大野市森・水保全条例」を制定し、地下水保全等の施策を進めている。引き続き、名水のまちとして水と深く

かかわりを持ち、後世に引き継ぐための取り組みを進めたい。

問 水利権の現状は。

答 本市では真名川用水頭首工からの取水が許可されており、許可期限は平成34年3月31日までとなっている。

問 地下水の水質確認は。

答 水道法における飲用水基準に準拠した40項目について検査している。平成25年度の検査では3

カ所の井戸から基準値を超えた項目が検出されたため、注意喚起し原因も特定した。

問 「環境保全の観点から下水道の加入状況」「安全安心な水の供給の観点から上水道の現状」はどうか。

答 下水道は、平成8年度に事業着手し現在水洗化率は31・4割。上水道の普及率は21・1割。健康で衛生的な暮らしを送るためには、より安全で安心な上水道が必要であること、大野の恵まれた水環境を後世に残すために下水道が必要であることを、市民に伝え、理解を求めながら、今後上水道の整備普及と加入促進に努めたい。

問 地下水保全基金の状況は。寄附の在り方を考え、市民が水に関心を持つ行政手法を取らしたい。

答 平成25年度で9件、約180万円である。

一般質問

国保における資格証明書保持者の 受診権確保はどうか

被保険者で特別な事情に準ずる方は 短期保険証で対応する



日本共産党・大野市議員団

さかえ
榮

まさ お
正夫 議員

問 国民健康保険法の第1条は「この法律は、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする」とあり、同法第67条では「保険給付を受ける権利は譲り渡し、担保に供し、又は差し押さえることはできない」と規定している。資格証明書の発行は、保健の向上、受給権保護の規定に違反しているが、本市の状況は。

答 国民健康保険被保険者資格証明書は、被保険者間の負担の公平を図る観点から、特別の事情がないにもかかわらず、保険税の納期限から1年間の経過するまでの間に保険税を納付しない場合、国民健康保険法第9条において、資格証明書を交付することとなっている。資格証明書交付世帯は現在39世帯で、昨年度の65

世帯より減少し、年々減少傾向にある。

問 資格証明書保持世帯であって、緊急に医療受診の必要が生じ、医療費の支払いが困難であるとき、病院の窓口で申し出ることで、特別の事情に準ずる対応として、短期保険証を交付することを周知しているか。

答 この対応は、平成21年1月の厚生労働省からの通知に従ったもので、実際、医療機関からの連絡により適用することが多いため、医療機関では理解されていると考える。

問 戦後の地域・農業を支えてきた家族農業は、崩壊をもたらしかねない国の農政改革に加え、鳥獣被害などの自然的条件への対応が迫られているが、見解は。

答 提起された問題については、同じような考え方を持っている。



本市の観光の基礎とは何か

交流人口の拡大、消費活動の活性化、 地域全体の産業に広く効果あり

問 知られつつある天空の城（越前大野城）をもっと観光面で重視する必要があるのでは。

答 トラックのラッピングを含め、ラピュタの会等によるポストカードや写真パネル、また天空の城クッキー、天空の水などでPRしている。さらに戌山城の遊歩道整備も考えている。

問 農産物イベントをどのように考え、取り組むのか。

答 イベントとして、そばまつりがある。今年で10回目を迎え、新たに2軒を加えた9軒が出店し、11月22日・23日の2日間開催。同時に軽トラ野菜市も開催する。また、本年は、里芋の産地強化に向けた全国さといも産地交流会「コロちゃんまつり2014」が開催され、この中で料理コンテストなども行われる。

このような取り組みを支援し、農林産物の積極

的なPRを行い、消費拡大を図るとともに、生産者の生産意欲の向上、交流人口の増加につなげたいと考えている。

問 化石が教育、観光に活用されることは、和泉地区の活性化につながるが、今後の対応は。

答 勝山市にある県立恐竜博物館と同等のものを本市へ誘致することは、現状では不可能。発掘体験ができることを売りにし、中部縦貫道の供用開始時期をにらんで情報提供を行っていく。

問 鳩ヶ湯の現状は。

答 鳩ヶ湯温泉は、経営者の急逝により昨年5月から閉館しているが、本年夏に岐阜の企業が取得し、施設の改修などの準備をしている。本温泉は、刈込池や三ノ峰などの登山者の拠点施設であり、再開に向けての動きは本市にとり明るい話題で大いに期待している。

新生おおの

宮澤 みやざわ

秀樹 ひでき 議員

「冬の厄介者は夏の救世主」

雪の利用について

市民や企業、事業所などの 雪の活用の提案があれば支援を検討していく



問 全国で3割しかない豪雪地帯大野市にとって、雪は循環型社会の財宝だが、雪利用の取り組みは。

答 新庁舎の雪冷房システムの導入、冷熱エネルギーの利用等を検討してきたが、コストメリットが低いこと、トータルコストが割高になる等で、現在のところ雪のエネルギー利用は考えていない。しかし観光面での利用や、市民、企業、事業所などによる雪利用の提案があれば、意に沿うような形で支援できるように検討していく。

問 地下水保全のための雨水利用の現状は。

答 駐車場や市道のアスファルト等に透水性舗装を採用。雨水貯留タンク、雨水浸透枡（使用しなくなった浄化槽）設置への助成を行っている。市民へはホームページやチラシなどで、雨水を貯留し庭への散水に利用するなどの啓発を行う。

問 「ひとり親家庭への支援」は。

答 小学校入学時二万円、中学校入学時二万円の就学支援金を支給。小学校入学時は体操服、中学校卒業時は図書券を激励記念品として贈呈（条件あり）。

また、母子自立相談員と専門知識を備えた職員が連携して相談などに迅速に対応。さらに事務手続き等も工夫し、ひとり親家庭の負担軽減に努めている。



第7回雨水ネットワーク全国会議 in福井（8月23・24日開催）。六呂師で保管した雪を使い、あそび・冷熱クーラーに利用



新風おおの

梅林 うめばやし

厚子 あつこ 議員

子ども・子育て新制度は 保育条件に格差をもたらずが

国基準を全て満たしているので適正だ



日本共産党・大野市議員
浦井 智治 議員

問 認可外保育施設での死亡事故の割合が認可保育所に比べて異常に高い。来年4月から新設される家庭的保育事業等は、保育士資格者の割合が現行基準より低く、保育水準に格差が生じ、平等原則に反することになるが。

答 家庭的保育事業等の認可基準は、国が示した基準を全て満たしており適正なものであると考えている。

問 新制度では、保育必要量の認定で短時間保育と認定された場合、これまでより保育時間が短くなる。市民に周知しているか。

答 保護者の就労時間による区分は、フルタイムで働くときは1日当たり11時間まで、パートタイムで働くときは8時間までとしており、短時間と認定されても1日8時間までの利用は可能であり、さらに希望すれば延長保

育を利用できるので保護者への影響はないと考えている。

制度の変更については、保育所見学会などで説明していきたい。

問 身近で入院可能な病院が減って地域のお年寄りには困っているが。

答 市内医療機関における病床数の減少は、高齢化が進む本市においては不安な要素だ。住み慣れた地域で長く生活していくためには、市内のかかりつけ医を推進することが重要である。

問 福井勝山総合病院がみんなで安心してかかれる良い病院になるように市はどのような支援をしているか。

答 当病院は、輪番制病院ということで救急指定を受けているので、それに伴うような負担、補助を行っているが、支援という形ではない。

一般質問

立地適正化計画とは

市街地を集約型構造に転換する

施策を定める計画。

中心市街地活性化策として期待される



新生おおの前田 政美 議員

問 立地適正化計画について詳しく聞きたい。

答 多くの地方都市では、急速な人口減少と高齢化などで活力が低下し、また商業施設や医療・福祉施設などの郊外への流出に伴い、住宅や店舗の郊外立地も進んだことから、市街地が拡散し密度の低い市街地が形成されている状況がある。

このような中、拡散した市街地を集約型の都市構造へと転換するため、本年5月に都市再生特別措置法の改正が行われ、立地適正化計画制度が導入された。

この立地適正化計画は、居住機能や都市機能を誘導するための施策や公共交通の充実に関する施策などを定めるものであり、具体的には、公共交通網を軸に、区域の指定を行い、まちなかに点在する空き地や空き店舗などに、

スーパーマーケットや病院など市民の生活に必要な施設を集約し、より効率的にサービスの提供を図っていくことになる。また、これらの施設を取り巻くように居住の集積を図る区域を指定し、居住環境を向上させることで人口密度を維持し、集約的なまちづくりを推進していくことになる。

今までの都市再生整備計画に基づく事業で支援できなかった民間施行の事業に対しても国の支援が拡充されることになっており、空き家、空き地対策を含めた中心市街地の活性化策として、期待が持てるものと考えている。本市においても、関連計画との整合性を図りながら、立地適正化計画の策定に取り組み、持続可能な元気なまちの再構築を目指していきたいと考えている。

平成26年 9 月第390回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議員名（議席番号順）			議決結果	山崎利昭	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	前田政美	石塚淳子	宮澤秀樹	川端義秀	松原啓治	藤堂勝義	高岡和行	兼井大	島口敏榮	浦井智治	本田章	畑中章男	砂子三郎	榮正夫
議案番号・議案名等																					
市 長 提 出 議 案	50	平成26年度大野市一般会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	×
	51	平成26年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	52	平成26年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	53	平成26年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	54	平成26年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	55	平成26年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	56	平成26年度大野市水道事業会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	57	大野市庁舎市民ホールの利用に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	×
	58	大野市結の故郷奨学金貸与条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	59	大野市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	×
	60	大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	×
	61	大野市保育の必要性の認定基準に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	×
	62	大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	63	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	64	大野市庁舎整備工事（その1）請負契約の変更に ついて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	65	大野市庁舎整備工事（その2）請負契約の変更に ついて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	66	九頭竜スキー場圧雪車売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	67	DAINOUSスポーツランドクロスカントリース キー場圧雪車売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	68	専決処分の承認を求めることについて（平成26年 度大野市一般会計補正予算（第2号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	69	平成25年度大野市歳入歳出決算認定について	継続 審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	70	平成25年度大野市水道事業会計の決算認定につ いて	継続 審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	71	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
市 会 案	7	林業・木材産業の施策の充実・強化を求める意見 書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
請 願	1	政府への「農業委員会、企業の農地所有、農協改 革など、農業改革についての意見書提出」につ いての請願	趣旨 採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	／	趣	趣	趣	趣	趣
	2	政府への「緊急の過剰米処理を求める意見書提出」 についての請願	不 採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	／	賛	否	否	否	賛
陳 情	7	地方財政の充実・強化を求める意見書採択につ いて	趣旨 採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	／	趣	趣	趣	趣	趣

（議長（島口敏榮氏）は採決に加わらないので「／」で表示。欠席は「欠」、除斥は「除」と表示。）

議案に賛成○、反対×

請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

請願・陳情

意見書

▼政府への「農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、農業改革についての意見書提出」についての請願

○提出者 福井県農民連会長 玉村正夫

▼政府への「緊急の過剰米処理を求める意見書提出」についての請願

○提出者 福井県農民連会長 玉村正夫

▼地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

○提出者 自治労福井県本部 執行委員長 見世重毅

人事案件

▼人権擁護委員候補者の推薦に同意

大谷恵子氏（右近次郎）を推薦することに同意しました。再任です。



▼林業・木材産業の施策の充実・強化を求める意見書

豊かな森林は、国土の保全、水源のかん養など、数多くの公益的機能を有し、国民が安全・安心に暮らすための重要な役割を担っています。林業・木材産業を取り巻く環境は、長引く木材価格の低迷や林業従事者の激減・高齢化などにより極めて厳しい状況が続いています。

こうしたことから、国において林野関連施策の充実・強化を図ることや、「石油石炭税の税率の特例措置」による税収の一定割合を森林面積に応じて地方に譲与する仕組みを構築すること、国の責任において分収造林事業の抜本的対策を講じることを求める意見書を政府関係機関に提出しました。

議 会 日 誌

◆9月

3日・4日 中部縦貫自動車道・国道158号整備促進特別委員会要望活動（国土交通省、近畿地方整備局、福井河川国道事務所）

8日～26日 第390回定例会

29日～10月1日 総務文教常任委員会視察研修（千葉県我孫子市、茨城県常陸太田市、埼玉県和光市）

◆10月

14日～20日 決算特別委員会

20日 福井県市議会議長会中央要望活動

21日 岐阜県下呂市議会行政視察来訪（ブランド戦略ほか）

22日 福岡県小郡市議会行政視察来訪（農政）

27日 福井県市町議員合同研修会

30日 全国広域連携市議会協議会理事会

◆11月

5日 愛媛県西条市議会行政視察来訪（地下水保全）

7日 福井県市議会議長会議員研修会

10日 愛知県岩倉市議会来訪

11日・12日 議会運営委員会視察研修（京都府舞鶴市・福知山市）

17日 決算特別委員会



9月3、4日に中部縦貫自動車道・国道158号整備促進特別委員会が要望活動を実施。国土交通省本省における要望活動の様様

請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

会議録の公開

図書館や市役所窓口で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

市議会を傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、傍聴席にお入りください。

次回の定例会は12月に予定されています。詳しい日程につきましては、大野市ホームページや12月号広報おのおのでご確認ください。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
(0779-66-1111 内線253)

常任委員会審査



市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。

▼産経建設

米品質評価システムとは

問 農林楽舎で導入する米評価システムとは。

答 穀粒判別機と食味分析計、そして分析データを保存するパソコンをそれぞれ1台購入する。食味分析計では、従来、JAが生産者に提供している水分とタンパク質の数値のほかに、アミロース、脂肪酸度が測定できる。生産者が自らの米の状態を確認し、より品質の良い米の生産に向けた意欲が出ることを期待する。

化石発掘体験を

拡充して開催できないか

問 本年度夏休み期間通して開催した化石発掘体験は大好評であったと聞く。夏休みに限らず土日、祝日なども開催できないか。



J R九頭竜湖駅周辺に夏休み期間常設した化石発掘体験場

答 本年度については、結の故郷発祥祭の市民提案事業の一つとして土日、祝日も開催している。

市内住宅の耐震化は

問 市で耐震化に関する助成をしているが、市内の住宅における耐震化の状況は。

答 25年度までの耐震化率は69%。耐震化改修に対する補助実績は本年度までで24件、耐震診断に対する補助実績は130件である。

▼民生環境

下水道普及啓発イベントの

対象者は

問 下水道についての理解を深めるため、下水道実験教室や熱気球体験教室など子ども向けに体験型イベントを実施すること。子どものうちから水の大切さや下水道の役割について知ってもらうことも重要だが、加入率を上げるためには、供用開始地区の大人にも参加してもらうことが重要では。

答 保護者など大人も来場いただく中で水の浄化などをPRし理解してもらう考えだ。

児童扶養手当（ひとり親家庭）申請者への調査

問 児童扶養手当申請者の自宅に訪問していると聞いたが。

答 状況把握のため本人からの聞き取りのほかに自宅を訪問し、生活実態を確認している。申請者への心証はよくないかもしれないが、過去に不正受給（事実婚）の例もあるためご理解を願っている。

デング熱など

伝染病への対応は

問 関東方面で拡大しているデング熱など、伝染病を疑う患者への対応は。

答 デング熱はまん延する伝染病ではないので、医療機関への受診を勧めるほかない。まん延する伝染病については、大野市新型インフルエンザ等対策行動計画に沿って対応する。

▼総務文教

市ホームページの

文字検索の仕組みは

問 市のホームページは、目的の所に到達しにくいという市民の声がある。ヤフーのサイトのような文字検索の仕組みはできないか。

答 市のホームページのサイト内にも文字検索の仕組みはある。

問 市のサイトは検索の場所が分かりにくい。

答 結の故郷を発信していくためにホームページの改善も考えているので、その中で分かりやすい構成となるよう対応したい。

人口減少対策の委託

問 人口減少対策事業の委託料は、どこかに調査等を委託するのか。

答 人口減少対策の調査研究と今後の取り組みについて検討するため、本市のブランドアドバイザーの内海氏が顧問になっている（株）電通と連携し立ち上げるプロジェクトチームに委託する。



市のホームページトップ画面（<http://www.city.ono.fukui.jp/>）。右上に文字を入力して、サイト内の検索が可能。

○委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局までお申し出ください。なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。様式は、大野市ホームページからダウンロードできるほか、議会事務局にもご用意しています。

常任委員会 報告

▼民生環境

地域型保育事業の基準

子ども・子育て新制度

施行に伴う条例の新設について、委員から、国の基準よりも厳しい基準を設けるべきとの意見もあったが、条例中の条項により、必要に応じて、国の基準よりも高いサービスを求めることは十分可能であるとの理事者の説明であった。

待機児童のいない本市

の場合、現実的に地域型保育事業の必要性が乏しいことを鑑みると、むしろ現在ある保育施設において、万が一の事故対策や災害に対する備えに万全を期されたい。

個人情報取り扱い

社会保障・税番号制度（マイナンバー法）は昨年5月に法案が成立、来年

から「付番」が始まり、申請に基づき個人番号カードの交付が始まる。

また、国民の方から自分の情報を確認できる仕組みも構築されるところ。

行政においては個人情報報の取り扱いには、これまで以上に細心の注意を払われない。

下水道加入率向上を

合併処理浄化槽の補助を受ける際の覚書は、合併処理浄化槽を設置後、公共下水道が供用開始となった場合には「すみやかに」下水道に加入するという内容だが、履行期限は具体的に設けられていない。

この覚書が形式上のものにならないためにも、毅然とした態度で臨むべき。

▼産経建設

観光施設の従業員は

接遇が大切

指定管理をしている観光施設において、従業員の接遇レベルが低い所が

見受けられる。

交流人口の拡大を目指し、おもてなしの心の醸成を図っている本市にとって、観光施設に携わる者の接遇は極めて大切であるため、指定管理者に対し、従業員の接遇スキル向上について指導されたい。

円山公園ミニ動物園の

安全対策を

円山公園ミニ動物園では過去に子どもがかまれる事故が起こっているが、現在でも十分な対策が施されていない。再度同様の事故が起きることがないよう、抜本的な安全対策を講じられたい。



円山公園ミニ動物園の様子

間伐材の供給が

持続するように

本年度の間伐材の買い取り単価は、木質バイオマス発電所の運営主体や県の支援により高額となっており、3年程度は、この価格を維持できる見込みであるものの、それ以降は県の補助次第とのこと。

木質バイオマス発電所建設は、本市のみならず県全体の林業活性化に寄与するものであるため、持続的に間伐材が搬出されるよう、今の段階から長期的な県の支援について要請されたい。

▼総務文教

DAINOUスポーツランド クロスカントリースキー場の 施設維持

県内唯一のクロスカントリー専用スキー場で、主に県レベルの大会で利用されることが多く、県に施設維持の支援等要望を行ってきたが、県は市町営の施設に対する支援は行わない方針でいる。今後も県との協議は継

続するとのことだが、交渉に当たっては、事前協議を十分に行い、あらゆる角度から交渉を進められたい。



DAINOUスポーツランドクロスカントリースキー場で開催された大会の様様

市内に就職する

高校生対象の助成制度

結の故郷奨学金制度は、大学等へ進学した学生の経済的負担の軽減と本市への帰郷促進が目的で、高校生は対象でない。

市外での就職が増えてくる高校卒業生の定住促進対策も講じる必要がある。高校を卒業し就職する者と進学する者との間に不公平感が生じないよう、また本市への定住促進につながるよう、市内に就職する高校生を対象

とした助成制度を全庁的に検討してはどうか。

新庁舎に整備される

市民ホールの利用方法

利用時間は、午前8時30分から午後9時30分で、使用料は土日、祝日や夜間は割増となる。

市民が文化の振興、まちづくりの推進、住民福祉の向上及び地域間交流の活性化に資する目的で使用する場合には、原則として使用料は免除になるが、若者の定住促進を進める観点からも、他の施設も含め、夜間や休日にしかり施設を利用できない就労している若者たちが使いやすい施設となるよう願う。



整備が進む市庁舎を産経建設常任委員会が調査（9月16日）

特別委員会 報告

○中部縦貫自動車道・ 国道158号整備 促進

▼中部縦貫自動車道
去る8月30日に大野油
坂道路の起工式典が開催
され、順調に工事が進捗
するものと期待するところ
である。

今後、未事業区間であ
る大野・大野東間の平成



大野油坂道路起工式典

27年度中の事業採択や、
大野東・和泉間及び和泉・
油坂間の一日も早い供用
開始とこれらに対する安
定的な財源の確保につい
て、国・県に対し、積極
的な要請を継続していき
たい。

▼国道158号

砂山トンネルの拡幅工
事が年内の供用開始を予
定し、工事が進められて
いる。

境寺計石バイパスは、
道路予備設計が進められ
ており、本年度末までに
設計協議と幅杭設置を行
う予定とのこと。

▼国道157号

大野バイパス

現在、中保・吉間で、
西側2車線の道路改良工
事が実施されている。

また、一部買収が完了
していない用地について
は、土地収用の手続きと、
任意での用地交渉が併行
して進められている。

○議会等改革推進

今回、「大野市議会基本
条例案の策定」はじめ、
「議会運営の手引きの改
正」「政務活動費の交付

に関する条例、施
行規則、運用マニ
ュアルの改正」の
3項目について、
委員の意見を取り
まとめた中間報告
書の作成に至った。

【中間報告の主な 内容】

▼議会基本条例の 制定

20回の委員会と
12回の条例検討作
業部会を開催し協

議を行い、パブリックコ
メントの実施により市民
の意見を拝聴した上で策
定に至った。

条例案は、前文及び8

章24条から構成しており、
「議会や議員の活動の原
則」「市民、市長等との
関係」等を具体的に示す
とともに、議会関係条例
等をこの条例に位置づけ
ることにより最高規範性
を高めた。

▼議会運営の手引きの 改正

新庁舎の新しい議場が
対面式になることを踏ま
え、議場における発言場
所の指定や、一般質問の
順序及び一般質問におけ



9月24日の特別委員会において、議長へ中間報告書
を提出。

る一問一答制の導入につ
いて改正した。また、議
会モニター制度の導入に
ついての項目を追加する
こととした。

▼政務活動費の交付に関 する条例、施行規則、運 用マニュアル等の改正

政務活動費について、
現在、本市議会では、か
なり厳しい支出基準のも
とで運用しているところ
であるが、条例や施行規
則等に不正な支出に対す
る返還の規定等を盛り込
むよう、引き続き本委員
会で検討を重ね、12月末
をめどに検討結果を提出
したい。

委員会視察 レポート (総務文教)



9月29日～10月1日に
実施。

千葉県我孫子市では、
子どもの市政参画をテー
マに「あびこスゴロク制
作事業(まちづくり探検
隊)」について研修しまし
た。

平成23年度から開始し
た事業で、子どもたちが
提案した「あびこスゴロ
ク」を小中学生の有志、
市民団体、市とで制作し
たものです。

我孫子を旅するように
進むコマや楽しいデザイ
ンなど、高い完成度から
多くの反響があり、市内
では郷土学習等で活用し、
子どもたちの郷土への愛
着と誇りにつなげていま
した。

茨城県常陸太田市では、
人口減少対策をテーマに
『子育て上手 常陸太田』
『アピール事業』について
研修しました。

この事業は、少子化・
人口減少対策の一環とし

て、「子育て上手 常陸太
田」というキャッチフレ
ーズと統一デザインによ
って子育て支援策の積極
的な広報と市の魅力発信
に取り組むものです。



和光市での研修の様様

埼玉県和光市では、行
政運営をテーマに「テー
マ型行政改革」と「和光
市健全な財政運営に関す
る条例」について研修し
ました。

前者の取り組みとして、
指定管理者制度運用ガイ
ドラインの改訂や業務委
託の導入に関する基準な
どを定めたガイドライン
の策定が行われています。

後者の条例は、将来世
代に過度な負担を残すこ
とのない安定した財政運
営を確保するための理念
を定めたもので、平成25
年4月1日から施行され
ています。

議会用語の



議会で使われる言葉は、生活の中では馴染みの薄いものが数多くあります。今回、皆さんに議会でのやりとりをより分かっていただくために、一部の用語解説をいたします。



Q 議案とは

A 議会の議決を要する事案のことです。議案には市長が提出するもの、議員が提出するもの、そして委員会が提出するものがあります。条例を設け又は改正・廃止すること、予算を定めること、決算を認定することのほかに意見書・決議などがあります。

Q 一般質問とは

A 市政全般における諸問題について、市長の考えを問う質問をいいます。

Q 採決とは

A 議長が議案に対する賛否を議員に問い、可決や否決など、議会の態度を決定することをいいます。

Q 意見書とは

A 市民の皆さんの生活に直接関わることで、国や県などの仕事の場合は、市だけでは解決できません。そのようなことに関して、議会の意見をまとめたものをいいます。意見書は国や県などへ提出します。



Q 質疑とは

A 議案などに対して、不明な点や詳しく知りたい事項を問うものです。本市議会の場合、一般質問と合わせて行うこととしています。

Q 討論とは

A 議案などについて、賛成・反対の意見を論じあうことをいいます。通常は賛成と反対を交互に行いますが、いずれか一方の場合もあります。

Q 請願・陳情とは

A 市民の皆さんが希望を議会に願い出ること、文書により提出していただくことになります。請願の場合は議員の紹介（1名以上）が必要です。

Q 専決処分とは

A 議会が決定すべきことを、市長が議会に代わって決定することです。議会を開催する時間がないときに行うものと、議会があらかじめ指定したものがあります。前者の場合、市長は次の会議（本会議）に報告し、承認を受ける必要があります。

編集後記

「覆水盆に返らず」といふ意味だが、水を地中に浸透させれば、それは再び大野の地下水となつて再び私たちの生活、何十年後かに孫がひ孫がその水を飲んでゐると思ふと真にロマンである。例年のことだが、稲刈りが済み、市内16カ所に地下水位揭示板の数値が高く、名水のまちの将来が危惧される。「日本水大賞 環境大臣賞」を受賞した本市へ県内外から議員をはじめ、各業界からの行政視察来訪者も多い。観光客も、水と朝市と天空の大野城を求めてやってくる。430年以前より現在に至るまで、地下水を飲料水として守り続けてきた市民の歴史と大野の水環境をいずれは世界遺産に願う。

（座長 梅林厚子）

議会だより編集委員会

委員 梅林 厚子

高岡 和行

兼井 大

浦井 智治



※ 次回は、1月25日の発行を予定しています。